

## 令和6年度鳥取県中部地域歯科保健推進協議会 報告書

日 時	令和7年2月20日（木）午後1時30分から3時30分まで																																		
場 所	鳥取県中部総合事務所1号館2階 205会議室（倉吉市東巖城町2）																																		
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員10名（欠席1） ※会の成立（過半数以上の参加） ※傍聴者2名</li> <li>・市町（オブザーバー）5市町10名</li> <li>・事務局（倉吉保健所健康支援総務課）6名</li> </ul>																																		
概 要	<p>（主な検討等の結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部圏域のう蝕の特徴は、どの年代も減少傾向だが県平均と比較すると3歳児までは同程度も4歳児以降高い傾向であった。</li> <li>・コロナ禍後、各団体とも取り組みや実習も回復してきているが、学校での昼食後の歯みがきが定着していない様子。根拠に基づく正しい情報の提供や県歯科医師会作成の歯みがき動画（You Tube）をみてほしい。</li> <li>・若い世代（子育て世代、働き盛り世代）の啓発方法については、企業の協力も必要、子どもの時期にしっかり取り組むことが将来のう蝕減少に重要との意見が出た。</li> </ul>																																		
報告事項	<p><b>(1)中部圏域各種歯科健診結果について(資料1参照)</b> 事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部圏域の特徴について、幼児から高校までのう蝕罹患率の推移では、以前は小3、小4がピークであったがR5年度の結果では小2がピークでその後減少に転じている。</li> <li>・どの年代も減少傾向だが、県平均と比較すると3歳児までは同程度だが4歳児以降高い傾向。</li> </ul> <p><b>(2)中部圏域歯科保健事業について(資料2参照)</b> 事務局から鳥取県の歯科保健の推進体系について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県の方向性として8020運動を推進し生涯自分の歯でおいしく食べることを目指す。様々な所属で取り組みを行っている。</li> </ul> <p><b>(3)次年度歯科保健事業(案)について(資料3参照)</b> (各団体)各団体から歯科保健に係る取り組みやコロナ禍後の変化を報告。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">各団体</th><th style="width: 80%;">内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部歯科医師会</td><td>・F洗口事業、地域歯科医療連携室の取り組み、県委託事業等取り組んでいる。</td></tr> <tr> <td>中部歯科衛生士会</td><td>・コロナ禍が明け事業が増えてきている。成人期、高齢期事業がもっと増えればと考えている。歯科衛生士会に声をかけていただきたい。</td></tr> <tr> <td>薬剤師会中部支部</td><td>・薬剤師会のイベントで中部歯科医師会にも協力いただき、参加者に興味を持っていただいた。</td></tr> <tr> <td>倉吉市保育園長会</td><td>・普段は保育士がついて歯みがきをして習慣付け。倉吉市の歯科衛生士による指導を実施。</td></tr> <tr> <td>養護教諭部会（小）</td><td>・コロナ禍後、歯磨き実習が増えてきた。</td></tr> <tr> <td>養護教諭部会（中）</td><td>・コロナ禍後、昼食後の歯みがきが定着しにくく、積極的に勧められていない。</td></tr> <tr> <td>倉吉市小P連</td><td>・歯科保健に係る取り組みは特になし（単Pではあるかも入れない）。</td></tr> <tr> <td>重症心身障害児（者）を守る会</td><td>・9割入所、1割在宅。周りの大人が口腔の健康をどう守っていくか。在宅では鳥大の予約は取りにくい、施設はインフルが入ると外部との接点を切るのでケアは難しい。</td></tr> <tr> <td>老健施設協会</td><td>・介護報酬の改定で歯科衛生士の施設配置が増加。8020運動の推進で近年歯がない高齢者はほとんどいない。食べられる環境を整えないと低栄養や筋力低下、肺炎につながる。</td></tr> <tr> <td>協会けんぽ</td><td>・職域が対象。マイレージ事業、広報活動等で歯科の直接の取り組みはない。</td></tr> </tbody> </table> <p><b>(各市町)各市町から次年度の新規事業及び重点事業等を報告</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">各市町</th><th style="width: 80%;">内 容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉吉市</td><td>・R7（拡充）歯周病検診の対象年齢に20歳、30歳を追加</td></tr> <tr> <td>三朝町</td><td>・R7（新規）町公式SNSで歯周病検診を啓発。・高学年でも仕上げ磨きの継続を啓発していく。</td></tr> <tr> <td>湯梨浜町</td><td>・R7（新規）こども園の4歳児、5歳児を対象にデンタルフロスの使い方指導</td></tr> <tr> <td>琴浦町</td><td>・R7（新規）一体的事業でオーラルフレイルのハイリスク者に歯科衛生士の訪問指導を実施</td></tr> <tr> <td>北栄町</td><td>・R7（新規）乳幼児歯科健診時に母子推進会議からの無償配布歯ブラシの提供終了。予算化へ。</td></tr> </tbody> </table>	各団体	内 容	中部歯科医師会	・F洗口事業、地域歯科医療連携室の取り組み、県委託事業等取り組んでいる。	中部歯科衛生士会	・コロナ禍が明け事業が増えてきている。成人期、高齢期事業がもっと増えればと考えている。歯科衛生士会に声をかけていただきたい。	薬剤師会中部支部	・薬剤師会のイベントで中部歯科医師会にも協力いただき、参加者に興味を持っていただいた。	倉吉市保育園長会	・普段は保育士がついて歯みがきをして習慣付け。倉吉市の歯科衛生士による指導を実施。	養護教諭部会（小）	・コロナ禍後、歯磨き実習が増えてきた。	養護教諭部会（中）	・コロナ禍後、昼食後の歯みがきが定着しにくく、積極的に勧められていない。	倉吉市小P連	・歯科保健に係る取り組みは特になし（単Pではあるかも入れない）。	重症心身障害児（者）を守る会	・9割入所、1割在宅。周りの大人が口腔の健康をどう守っていくか。在宅では鳥大の予約は取りにくい、施設はインフルが入ると外部との接点を切るのでケアは難しい。	老健施設協会	・介護報酬の改定で歯科衛生士の施設配置が増加。8020運動の推進で近年歯がない高齢者はほとんどいない。食べられる環境を整えないと低栄養や筋力低下、肺炎につながる。	協会けんぽ	・職域が対象。マイレージ事業、広報活動等で歯科の直接の取り組みはない。	各市町	内 容	倉吉市	・R7（拡充）歯周病検診の対象年齢に20歳、30歳を追加	三朝町	・R7（新規）町公式SNSで歯周病検診を啓発。・高学年でも仕上げ磨きの継続を啓発していく。	湯梨浜町	・R7（新規）こども園の4歳児、5歳児を対象にデンタルフロスの使い方指導	琴浦町	・R7（新規）一体的事業でオーラルフレイルのハイリスク者に歯科衛生士の訪問指導を実施	北栄町	・R7（新規）乳幼児歯科健診時に母子推進会議からの無償配布歯ブラシの提供終了。予算化へ。
各団体	内 容																																		
中部歯科医師会	・F洗口事業、地域歯科医療連携室の取り組み、県委託事業等取り組んでいる。																																		
中部歯科衛生士会	・コロナ禍が明け事業が増えてきている。成人期、高齢期事業がもっと増えればと考えている。歯科衛生士会に声をかけていただきたい。																																		
薬剤師会中部支部	・薬剤師会のイベントで中部歯科医師会にも協力いただき、参加者に興味を持っていただいた。																																		
倉吉市保育園長会	・普段は保育士がついて歯みがきをして習慣付け。倉吉市の歯科衛生士による指導を実施。																																		
養護教諭部会（小）	・コロナ禍後、歯磨き実習が増えてきた。																																		
養護教諭部会（中）	・コロナ禍後、昼食後の歯みがきが定着しにくく、積極的に勧められていない。																																		
倉吉市小P連	・歯科保健に係る取り組みは特になし（単Pではあるかも入れない）。																																		
重症心身障害児（者）を守る会	・9割入所、1割在宅。周りの大人が口腔の健康をどう守っていくか。在宅では鳥大の予約は取りにくい、施設はインフルが入ると外部との接点を切るのでケアは難しい。																																		
老健施設協会	・介護報酬の改定で歯科衛生士の施設配置が増加。8020運動の推進で近年歯がない高齢者はほとんどいない。食べられる環境を整えないと低栄養や筋力低下、肺炎につながる。																																		
協会けんぽ	・職域が対象。マイレージ事業、広報活動等で歯科の直接の取り組みはない。																																		
各市町	内 容																																		
倉吉市	・R7（拡充）歯周病検診の対象年齢に20歳、30歳を追加																																		
三朝町	・R7（新規）町公式SNSで歯周病検診を啓発。・高学年でも仕上げ磨きの継続を啓発していく。																																		
湯梨浜町	・R7（新規）こども園の4歳児、5歳児を対象にデンタルフロスの使い方指導																																		
琴浦町	・R7（新規）一体的事業でオーラルフレイルのハイリスク者に歯科衛生士の訪問指導を実施																																		
北栄町	・R7（新規）乳幼児歯科健診時に母子推進会議からの無償配布歯ブラシの提供終了。予算化へ。																																		

	<p>(保健所)</p> <p>保健所の主な事業について事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中部地域歯科保健関係者研修会：R7 年度（案）妊娠時の口腔ケア（R3 年度コロナ禍で中止のテーマ）。歯科医師会と検討。</li><li>・デンタルプロフェッショナル派遣事業：R7 年度（案）河北小学校にて継続（2 年目）</li></ul> <p><b>各委員、各市町の報告を受けて歯科医師会委員(会長)の意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小さいころからの習慣付け、市町のフロスの取組み、仕上げ磨きを小 6 まで啓発等習慣付けに関係し良い取組み。指導の継続が大事。</li><li>・フッ化物洗口は歯科医師会としてもやるべき。費用対効果もある。実施への意見もあると思うがやって損はない。小中学校でう蝕を作らなければ、それ以降減少していくだろう。</li><li>・近年総義歯の方は少なくなっている。多くの歯が残ることは良い事ではあるが、自身で管理が出来なくなると QOL の低下に繋がってくる場合がある。心身ともに元気で歯を残すことが大切。口も体も健やかに。</li><li>・障がい児（者）の歯科受診は難しい面もあるが資料（リーフレット）を参考にしてほしい。</li></ul>																						
意見交換 協議事項	<p><b>中部圏域歯科保健の課題と対策について(資料4参照)</b></p> <p>事務局から資料 4 の説明</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事前に提出いただいた協議等したい内容について、事務局で質問事項と協議事項に分けさせていただいた。協議事項は「成人期の若い世代への啓発方法」について協議をお願いする。</li></ul> <p><b>(質問事項)</b> 資料 4 の P 2 参照 特に意見等なし</p> <p><b>(協議事項)</b> 若い世代への啓発方法 資料 4 の P 3 参照</p> <table><tr><th>各団体</th><th>内容</th></tr><tr><td>中部歯科衛生士会</td><td>・子育て世代は自分のことは後回しになりがち。市町啓発ちらしを見る機会を作る。</td></tr><tr><td>薬剤師会中部支部</td><td>・20 代 30 代が歯科受診後に薬局に来店。（親知らずの場合もあるが）抜歯のようだ。歯磨きが雑な年代。薬剤師会のイベントでアドチェック（簡単にできる歯周病リスクテスト）を実施したところ、お子様連れの方も来られ知っていただく機会になった。</td></tr><tr><td>倉吉市保育園長会</td><td>・保護者も噛む力がないように感じる。園児の噛む力をつけるよう、するめや昆布を取り入れている。生活リズムの事を園児にはよく話している。関係していると思うので啓発してほしい。</td></tr><tr><td>養護教諭部会（小）</td><td>・保護者への啓発は難しい。学校保健委員会で併せてしたらどうか。高校卒業後歯科健診の機会はなく 20 代 30 代の健康は大事と授業で伝える。</td></tr><tr><td>養護教諭部会（中）</td><td>・保護者への啓発は難しい。参観日に保護者向けにも啓発。定期歯科健診をしている人から人へ情報が伝わっていけば良い。</td></tr><tr><td>倉吉市小 P 連</td><td>・参観日に保健体育で取組むのも良いかも。20 代 30 代は歯科受診しにくい。事業所健診に組み込む等行く機会を作れたら良い。</td></tr><tr><td>重症心身障害児（者）を守る会</td><td>・自身がう蝕が多かったのでむし歯は怖いものと知ってきたので、分かりやすい例で、将来こうなると周知してほしい。（データで〇〇だと〇〇になる等）</td></tr><tr><td>老健施設協会</td><td>・若い保護者への支援が必要そう。口腔衛生がコロナとともに間違った情報が定着していないか、感染対策も間違ったままになっていないか啓発。職場等の管理者へもアプローチを。</td></tr><tr><td>協会けんぽ</td><td>・35 歳～40 歳の生活習慣病予防健診を実施。歯周病検診は仕組みの中で設けていかなければならない。全身疾患との関係までは啓発できていない。</td></tr><tr><td>中部歯科医師会</td><td>・噛むことで唾液の自浄作用でむし歯予防に（唾液の量、成分）。 ・歯並びは歯の萌出時期と顎の成長具合も関係すると言われている。 ・しっかり噛むことで歯並びの改善に繋がる場合がある。調理の工夫として、具材を大きいものにしたり、噛み応えのあるナッツ類やジャコ等を食材として活用したりする。 ・歯並びが悪いと磨きにくく、むし歯リスクがある。矯正を考えていくのは有効ですが、矯正を行う上での問題点もあるのでしっかり相談してから行いましょう。 ・コロナ禍では歯みがきを控えた時期もあった。5 類になり感染流行期でなければ気にしすぎる</td></tr></table>	各団体	内容	中部歯科衛生士会	・子育て世代は自分のことは後回しになりがち。市町啓発ちらしを見る機会を作る。	薬剤師会中部支部	・20 代 30 代が歯科受診後に薬局に来店。（親知らずの場合もあるが）抜歯のようだ。歯磨きが雑な年代。薬剤師会のイベントでアドチェック（簡単にできる歯周病リスクテスト）を実施したところ、お子様連れの方も来られ知っていただく機会になった。	倉吉市保育園長会	・保護者も噛む力がないように感じる。園児の噛む力をつけるよう、するめや昆布を取り入れている。生活リズムの事を園児にはよく話している。関係していると思うので啓発してほしい。	養護教諭部会（小）	・保護者への啓発は難しい。学校保健委員会で併せてしたらどうか。高校卒業後歯科健診の機会はなく 20 代 30 代の健康は大事と授業で伝える。	養護教諭部会（中）	・保護者への啓発は難しい。参観日に保護者向けにも啓発。定期歯科健診をしている人から人へ情報が伝わっていけば良い。	倉吉市小 P 連	・参観日に保健体育で取組むのも良いかも。20 代 30 代は歯科受診しにくい。事業所健診に組み込む等行く機会を作れたら良い。	重症心身障害児（者）を守る会	・自身がう蝕が多かったのでむし歯は怖いものと知ってきたので、分かりやすい例で、将来こうなると周知してほしい。（データで〇〇だと〇〇になる等）	老健施設協会	・若い保護者への支援が必要そう。口腔衛生がコロナとともに間違った情報が定着していないか、感染対策も間違ったままになっていないか啓発。職場等の管理者へもアプローチを。	協会けんぽ	・35 歳～40 歳の生活習慣病予防健診を実施。歯周病検診は仕組みの中で設けていかなければならない。全身疾患との関係までは啓発できていない。	中部歯科医師会	・噛むことで唾液の自浄作用でむし歯予防に（唾液の量、成分）。 ・歯並びは歯の萌出時期と顎の成長具合も関係すると言われている。 ・しっかり噛むことで歯並びの改善に繋がる場合がある。調理の工夫として、具材を大きいものにしたり、噛み応えのあるナッツ類やジャコ等を食材として活用したりする。 ・歯並びが悪いと磨きにくく、むし歯リスクがある。矯正を考えていくのは有効ですが、矯正を行う上での問題点もあるのでしっかり相談してから行いましょう。 ・コロナ禍では歯みがきを控えた時期もあった。5 類になり感染流行期でなければ気にしすぎる
各団体	内容																						
中部歯科衛生士会	・子育て世代は自分のことは後回しになりがち。市町啓発ちらしを見る機会を作る。																						
薬剤師会中部支部	・20 代 30 代が歯科受診後に薬局に来店。（親知らずの場合もあるが）抜歯のようだ。歯磨きが雑な年代。薬剤師会のイベントでアドチェック（簡単にできる歯周病リスクテスト）を実施したところ、お子様連れの方も来られ知っていただく機会になった。																						
倉吉市保育園長会	・保護者も噛む力がないように感じる。園児の噛む力をつけるよう、するめや昆布を取り入れている。生活リズムの事を園児にはよく話している。関係していると思うので啓発してほしい。																						
養護教諭部会（小）	・保護者への啓発は難しい。学校保健委員会で併せてしたらどうか。高校卒業後歯科健診の機会はなく 20 代 30 代の健康は大事と授業で伝える。																						
養護教諭部会（中）	・保護者への啓発は難しい。参観日に保護者向けにも啓発。定期歯科健診をしている人から人へ情報が伝わっていけば良い。																						
倉吉市小 P 連	・参観日に保健体育で取組むのも良いかも。20 代 30 代は歯科受診しにくい。事業所健診に組み込む等行く機会を作れたら良い。																						
重症心身障害児（者）を守る会	・自身がう蝕が多かったのでむし歯は怖いものと知ってきたので、分かりやすい例で、将来こうなると周知してほしい。（データで〇〇だと〇〇になる等）																						
老健施設協会	・若い保護者への支援が必要そう。口腔衛生がコロナとともに間違った情報が定着していないか、感染対策も間違ったままになっていないか啓発。職場等の管理者へもアプローチを。																						
協会けんぽ	・35 歳～40 歳の生活習慣病予防健診を実施。歯周病検診は仕組みの中で設けていかなければならない。全身疾患との関係までは啓発できていない。																						
中部歯科医師会	・噛むことで唾液の自浄作用でむし歯予防に（唾液の量、成分）。 ・歯並びは歯の萌出時期と顎の成長具合も関係すると言われている。 ・しっかり噛むことで歯並びの改善に繋がる場合がある。調理の工夫として、具材を大きいものにしたり、噛み応えのあるナッツ類やジャコ等を食材として活用したりする。 ・歯並びが悪いと磨きにくく、むし歯リスクがある。矯正を考えていくのは有効ですが、矯正を行う上での問題点もあるのでしっかり相談してから行いましょう。 ・コロナ禍では歯みがきを控えた時期もあった。5 類になり感染流行期でなければ気にしすぎる																						

	<p>ことはない。学校歯科医と相談してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県歯科医師会では YouTube で歯みがきの動画をアップしているので見てほしい。</li> <li>・小中学校でのお昼の歯みがきを実施しないのはどうか。責任を問われるからか？</li> <li>・20 歳までにむし歯が無かった人は、その後むし歯になるリスクが低いと言われている。子どもの頃のむし歯無しを目指していくのが良い。</li> <li>・市町の歯周病検診に 20 歳 30 歳が拡大されるのは良い事。国民皆歯科健診も進んでなさそう。</li> <li>・18 歳以上の学生の歯科健診を中部でも行っていけると良いと思う。</li> </ul> <p><b>意見交換</b></p> <p>老健施設協会：マスクの着用についても歯みがきは衛生面から、手洗いは感染予防として習慣化し、教育の必要がある。定着していくと良い。</p> <p>歯科医師会：食べたらみがく、医科歯科連携、多職種が連携して受診者に伝え続けること。</p> <p>事務局：コロナ禍での歯みがきについて県歯科医師会等が通知を出しておられたが、歯みがきが再開しても定着しにくい状況があるようだが通知される予定はないか。</p> <p>&gt;&gt;（歯科医師会）特にないと思う。</p>
8020運動 推進協議会 への提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍後、給食後の歯みがきは実施して良くなったが、以前の実施率に戻っていない印象。圏域だけでなく全県でなんらかの対応を御検討いただきたい。</li> </ul>